

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成23年 4月15日 午後 1時30分 開会 午後 5時00分 閉会
2 場 所	議員控室
3 出席議員	山田喜一 山口陽一 清水弘子 鈴木京子 百瀬恵美子 奥津勝子 浅輪いつ子 竹内恵美子 坂田よう子 鈴木 修
4 説明員	町長 中崎久雄 鈴木首席理事 二挺木理事 岩本総務課長 齋藤副主幹 田仲医幹 森田政策課長 二挺木保険福祉課長 小島主幹 寺井副主幹 加藤財政課長 宮代副主幹 原危機 管理対策室長 早崎副主幹 佐野スポーツ健康課長 市野保 健師 二宮消防長 三木消防署長 古正隊長兼副主幹 小泉 隊長兼副主幹 依田教育長 相田理事
5 職務のため 出席した職員	局長 飯田 隆 書記 山口芳弘
6 協議等の事項	(1) 議会報告会について (2) ごみ処理広域化検討特別委員会の報告について (3) 議員報酬等検討特別委員会の報告について (4) 一般質問通告書のホームページ掲載について (5) その他
7 その他	

(1) 町長あいさつ

依田教育長、田仲医幹より自己紹介

「春の交通安全運動」、「インターナショナルアジリティー：DVD による紹介映像」に関する最近の町の動きについての話があった。

(2) 町報告事項

ア 大磯町国民健康保険条例の一部改正の専決処分について

説明資料の概要説明があった。

質疑なし

イ 平成 22 年度事故繰越事業について

「防災対事務事業」、「国府本郷月京 1 号線整備事業」、「月京 8 号線整備事業」、「町営月京住宅建替事業」、「公共下水道整備事業」の平成 22 年度事故繰越しについて報告があった。

議員から説明資料を書面で提出するよう要求があり、その後、追加資料の提出があった。

ウ 平成 23 年度大磯町土地開発公社事業計画及び予算等について

事業計画及び予算について 3 月 29 日の理事会で可決し、その報告があった。

問. 23 年度事業計画の「本庁舎駐車場整備事業」とは場所はどこか。

答. 昨年度も計上したが、サンライフ所有土地の用地取得費である。

問. 公社は解散の方向でなかったか。草刈手数料の場所はどこか、契約方法は。

答. 1～3 は不動川に関係する内容で県の整備と併せて行うもの、先行取得という性格で計上している。

草刈は東小磯の東鉄工業の裏、国府本郷神橋の北側、石神台北公園の南側であり、契約は数者からの見積もりで行う。

問. 公社の縮小と逆行してないか。一般会計で計上すべきではないか。

答. 解散の方向にしたい。不動川の土地なので即座に買えるよう上げている。サンライフさんは現在、近隣にお住まいの方に、計画についての説明会を実施しているところですが、取得の可能性の余地ありとの意味合いで上げている。

問. サンライフ用地は町長として買えば買いたいということか。

答. 買えますかという交渉はしない。向こうから話があれば対応できるようにするもの。

問. 来るのを待っているのではなく、積極的に買い取ることにしないと大変なことになる。交通安全、観光にも係わる。前より後退してガッカリしている。

答. 過去のこと分かっている。町と業者と話しは尽くしている。代替地も示したが纏まらなかった。少しでも話しあえればやりたい。

問. もっと積極的にやってもらいたい。

答. 町の人意見も出ている。次のステップに行くか今見ている。法的にどちらの味方もできない。一生懸命に考えている。

エ 東日本大震災に係る災害対応について（所管課説明及び派遣職員報告）

3月11日の地震及び津波、3月15日の後の報告となる。資料により説明する。また議長からの依頼で、追加として電柱に掲示してある電柱番号と海拔表示の資料が提出された。

問. 避難経路が不明確で、安全性が確保されているのか、対応をすぐしてもらいたい。

また提案であるが、避難場所に合唱団、マーチングバンドが慰問している。町の鳥、木があるが「町の歌」を広く町民から公募したらどうか、考えてもらいたい。

答. 避難経路は、ここがそうだと道を示せない、ケースによって生活道路など様々ある。自助で考えてもらいたい。町としても太い道は指定しているが、それ以外は自分で日ごろから考えてもらいたい。

問. 中丸、馬場で避難に橋を渡らなければならない、そういうニュアンスで話した、視野を広く、柔軟に考えてもらいたい。

問. 被災者支援について、大磯には東海大があるので来たが役場に電話したら恒道園を紹介された、要はたらい回しされた。大磯のこと全然知らない人を例にあげたが、総合的な窓口はどこか、対応はできているか。

古沢県議も防災をしっかり見たいと言っている。防災を町長どう考えるか。

答. 窓口は危機管理対策室である。その件は包括に行った話しで介護保険対象者なので恒道園へ行って、東海大へも行った件。

職員派遣については、町長の意向もあり積極的に行っていく方向、5名の応募があった、県の枠があるので第3陣、第5陣で1名ずつ行く。

問. 防災無線、東小磯防災館付近が谷戸で共鳴して聞きにくい、聞けるようにできるのか、できなければ他に案あるか。

大磯の魚、放射能大丈夫か、町として何か伝えることが大事と思うが。

救援物資を世界こども財団を通じ送付とあるが、町で送ればいいのか、民間にたよらなくても良いのではないか。

答. 救援物資の送付については最初は国も県もルートがなかった、星槎がルートあるのでと向こうから言ってくれた、その後県のルートができてからは願っていない。

防災無線のことは対応していなかったこと申し訳ない。早急にやっ行ってきたい。風の影響とかもあると思うが。

魚の件は、県は1週間に1回、相模湾のこと公表しているが、毎日の対応は答えられない。回覧の形で一度出す。

問. 計画停電、夜間の活動がひっ迫している。防犯灯も朝5時に明るくなってもまだついている。

答. 4月18日以降は夜間も開けて行く。防犯灯の感知器のこと、担当課に伝える。東電にも要請して行く。

問. 今回の震災、特に津波対策、防潮堤越えてしまうのではないか。

答. 橋が落ちたり、津波が来たとき、避難するしかないが、昼と夜とで違う。どう早く伝えるか、向う3軒両隣が大切、逃げるための練習をしたい。町の歌、今後町から提案するかもしれない。

○被災地への派遣職員からの報告があった。

・市野保健師 4月3日～8日、岩手県大槌町の被災者120名の避難所での活動報告。

・緊急消防援助隊の活動報告

消防部隊報告

3月14日～18日 仙台市宮城野地区 6名での派遣で不明者の捜索活動をした。

救急部隊報告

3月19日～23日 福島県福島市 5名での派遣で原発から30キロ内の傷病者の移送、放射能防止服を着用して活動した。

5月12日～16日また福島県への派遣予定されている。

(3) 各種委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

ア 委員長等からの報告

・4/15 議会運営委員会・・・百瀬委員長

・3/25 農業委員会総会・・・鈴木議員

・4/4 神奈川県町村議会議長会、同情報システム共同事業組合議会臨時総会の概要・・・山田議長

・4/5 町長等と議長・副議長との懇談会・・・山田議長

・ 3 / 30 行政視察

一般質問の方法について（二宮町議会テレビ放映運営委員会）・・・百瀬委員長

・その他 神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員の補欠選挙候補を出してもらいたい。奥津福祉文教委員長にお願いすることに決定。

(5) 協議事項

ア 議会報告会について

本日は欠席4名なので、4月26日（火）午後1時30分から役割分担、アンケート等の打合せを全員で行う。欠席議員に連絡を事務局からする。

イ ごみ処理広域化検討特別委員会の報告について

5月10日午後1時30分から委員会を開催する。

ウ 議員報酬等検討特別委員会の報告について

活動範囲を決め、3方式を議論し中間報告は終わった。その後報告会に臨むことになっていた。4月26日の報告会の打合せと併せて行う。

エ 一般質問通告書のホームページ掲載について

通告書とホームページは同じものに一本化する。通告書どおり。通告書もまとめて簡略化するように。

オ その他

(ア) 北海道白老町の通年議会資料提供・・・議長

(6) 事務局からの報告

ア 政務調査費について（使途状況の公表）

資料のとおり平成22年度をまとめた、今後公開して行く。

イ 自治基本条例の議会関係条文について

議会基本条例を基にまとめて提出したものが資料のとおりである。パブコメやっている。4月28日の総務建設常任委員会で説明がある。

次回の開催予定日（5月16日）について事務局から報告があった。